

一般社団法人仁滯会 令和6(2024)年度10月理事会 議事録

日時 令和6年10月17日(木) 18:00～
場所 仁滯会事務室 (Zoom 併用のハイブリット形式)
出席理事 生野弘道理事長、増田博副理事長、首藤副理事長、中村肇副理事長、
田中祐尾、中谷守一、三浦克之、古瀬洋一、中村哲生、小山孝一
栩野吉弘、福島若葉、藏城雅文
出席監事 大谷遷、樋上忍

理事長挨拶

こんにちは。昭和44年(1969年)卒の生野弘道です。理事会へのご出席、ありがとうございます。

長かった猛暑が終わり、いつの間にか、季節はすっかり秋模様となってきました。

街中は、衆議院選挙の真っただ中。自公の目標は過半数、野党の目標は自公の過半数割れ、と厳しい戦いが展開されています。大阪は少し衰えたとはいえ、維新が圧倒的に強く、小選挙区を独占しようとしています。どうなるのでしょうか。

さて、大学医学部は創立80周年記念のお祝いの日(10月27日)が近づいてきました。仁滯会の役員の方はできるだけ出席してください。

仁滯会の公益法人化は、中村肇副会長、豊田雅裕事務長のお陰で、間もなく大阪府の認可が得られそうです。本日も定款などの問題が提案されますが、活発なご意見をいただきたいと思います。

それでは、議事録署名は大谷遷監事と私が、司会を増田博副理事長にお願いし、理事会を始めたいと思います。

- 司会：増田副理事長
- 議事録署名人：大谷遷監事、生野弘道理事長
- 9月理事会議事録確認
9月理事会議事録について、原案どおり承認された。

○ 報告事項

1. 会員のご逝去について

田中 俊司 (タカ シュンジ) 先生 (S 56 : 1981 年卒) : R 6.10.9 ご逝去

2. 会計報告

昨年度と今年度の上半期比較 [中村副理事長]

添付資料の上半期比較残高試算表について説明が行われた。主な内容としては、今年度の収入関係で、9月末現在で会費納入者が昨年より91名少ないため年間では100名（百万円）以上の収入減の可能性があり、一方、支出も医学部創立80周年への助成や公益法人化に向けての諸々の支出増が見込まれるが、今年度については、仁澤会北ブロックからの多額の寄付があり、収支トータルでは昨年度より約83万円潤っているような状況ではある。しかしながら、寄付がなければ厳しい収支状況であったため、今後、特に収入の状況には注意しておく必要があるとの報告があった。

3. 医学部80周年記念事業企画委員会報告 [首藤・中村副理事長]

祝賀会の出席が当初の想定より大幅に減少する見込みであるとの報告があった。

次に、中谷理事より祝賀会での記念講演について、田中・中谷の両理事でほぼ毎週打合せを行っているところであるとの報告があった。

一方、第一部の市民公開講座について、仁澤会には詳細の情報が届いていなかったが、福島理事も講演を行われる予定であり、事務局でポスター等を入手し、役員に案内するよう指示があった。

最後に大谷理事から、記念式典・講演をビデオ等で残せば将来に役に立つのではとの意見があり、公式にはその予定が無いとのことであり、中村副理事長が録画を下さることとなった。

4. 今後の医学部行事予定 [首藤副理事長]

① 白衣授与式：令和6年12月21日(土) 午前

例年4年生が1月から臨床実習を行うことに伴い白衣の授与式が行われており、理事長にも出席要請が行われる予定であるとのことであり、理事長も了承された。

② 学位授与式・謝恩会：令和7年3月24日(月) 午後・謝恩会は未定

いわゆる卒業式であり、学位授与式が午後に行われる予定である。その夕刻から行われる謝恩会についても、昨年同様に今年の卒業生たちが企画中であり、理事長にも出席要請があると思われるのでよろしくとのことであった。

5. その他

特になし

○ 協議事項

1. 公益法人化の申請について [中村副理事長]

添付の大阪府へ提出する申請書に基づき説明が行われ、公益目的事業・総合扶助等事業の詳細な説明が行われ、承認された。続いて、資料に基づき、令和7年度の事業計画・予算案、遊休財産の特定資産への組入れ内容についての説明が行われ

た。ただ予算案については、収支がマイナス予算案となっているが、収支を見直し、収支ゼロとするよう指示があり、そうすることを踏まえて承認された。

ただ、大阪府の公益法人担当より、定款で正会員は会費の納入義務があるとされており、未納入者の分を未収金として計上する必要があるのではないかと。また、他の組織や団体では、支払う義務がある会費を一定年数収めていない場合は、除名や一定の権限の剥奪等をするのが通常であるが、どのように考えるのかとの指摘があり、同担当者から賛助会員とする方法もあるとのアドバイスもあり、検討を行うこととした。

なお、府への申請を11月には行いたいと考えているが、中村副理事長から府との協議の中で、府の担当者から上記のほか、例えば公益3事業に選考委員と密接に関係する者から申請があった場合、その委員は採決から外すことを規程等に盛り込んだ方がよい等の様々な指摘や助言があり、今後、一連の申請書については、特に重大な変更以外は理事長及び担当副理事長に一任してほしいとの提案がなされ、了承された。

2. 仁濤 133 号の発行計画について [栩野理事]

(協賛広告は前回と同じ)

前回理事会以後、「80周年市民公開講座と記念式典・祝賀会開催報告」と、この数年掲載している「卒業生の初期臨床研修後の進路 2024」を記事として追加することとしたとの報告があり、承認された。

3. その他

特になし

○ その他

前回理事会で決定された、来月から理事会は現地開催を原則とし、やむを得ない場合は申し出により Zoom 参加を認めることとするとの確認がなされた。

次回理事会開催予定 令和6年11月21日(木) 18:00～

(於 メディックス6階同窓会室)

議事録署名人 理事長 生野 弘道



監事 大谷 遷

